

---

# 六本木アートナイト 2024 [インクルーシブ・アート・プログラム]

---

## 実施報告書



六本木アートナイト実行委員会



---

## 1. 本事業の概要

六本木アートナイトでは2018年度より、さまざまな人たちと六本木アートナイトを巡る「インクルーシブ・ツアー」を開催している。2024年度は、現場で実際の作品を鑑賞する鑑賞ツアーおよびオンラインによる鑑賞プログラムを企画、「インクルーシブ・アート・プログラム」として2つのプログラムを実施した。

企画協力：NPO法人エイブル・アート・ジャパン（以下、エイブル・アート・ジャパン）

### 〈プログラム詳細〉

#### インクルーシブ・アート・プログラム

「見る・聞く・感じる」いろいろな方法で都市とアートとミライのお祭りを体験しよう！！

#### プログラム① 鑑賞ツアー「ワタシの感覚を見つける、シェアする鑑賞ツアー」

日時：9月29日（日曜日）16時～18時

会場：六本木アートナイト2024会場各所

対象：鑑賞会に関心のあるすべての人、感覚特性がある人など（定員10名程）

※手話通訳あり

#### プログラム② オンライン鑑賞会「じっくり、ゆったり語らナイト」

日時：9月28日（土曜日）18時～20時

会場：オンライン

対象：鑑賞会に関心のあるすべての人、実際に六本木アートナイトへ行くことが難しい人など（定員10名程）

参加方法：Zoomを使用

### 〈目的〉

- ・六本木アートナイトをインクルーシブ（社会包摂的）にするためのプログラム実施
- ・障害のある人の「ために」ではなく、障害のある人やさまざまな人と「ともに」活動することで、新しい価値創造についての気づきを得る機会とする
- ・より多様な参加者が物理的・心理的バリアーを感じず参加できるようにする
- ・多様な人たちとの対話鑑賞により、新たな鑑賞の視点を得る

※「対話鑑賞」＝美術鑑賞を、言葉を使ってやりとりしながら、作品を深く感じる試み

---

## 2. プログラム実施詳細

### プログラム①

#### 鑑賞ツアー「ワタシの感覚を見つける、シェアする鑑賞ツアー」

感覚特性のあるファシリテーターと一緒に、六本木ヒルズのウエストウォーク内の作品を鑑賞。参加者同士で対話をしながら鑑賞を行った。感覚特性のある参加者も多く、賑やかな会場内で安心してツアーに参加してもらえるよう配慮を行なった。

日時：9月29日(日曜日) 16時～18時

会場：六本木アートナイト2024 六本木ヒルズウエストウォーク

対象：鑑賞会に関心のあるすべての人、感覚特性がある人など(定員10名程)

参加者：12名(うち精神障害・発達障害等8名、聴覚障害1名)

※手話通訳あり

#### ●実施体制

ファシリテーター：ユズコ、まーしー

手話通訳士：小松智美、石川阿

ラーニングキュレーター：白木栄世(森美術館)

進行：エイブル・アート・ジャパン

#### ●鑑賞作品

- ・平山亮・平山匠《平山プロダクション》
- ・ツアイ& ヨシカワ《豊穣の宝石 - Reflection》

#### ●タイムスケジュール

- ・趣旨説明・スタッフおよび参加者の自己紹介(20分)
- ・参加者自己紹介(10分)
- ・鑑賞の楽しみ方の説明(10分)  
～移動～
- ・作品鑑賞① 平山亮・平山匠《平山プロダクション》(20分)  
～移動・休憩～
- ・作品鑑賞② ツアイ& ヨシカワ《豊穣の宝石 - Reflection》(20分)  
～移動～
- ・全体での振り返り・鑑賞の共有(25分)

## ●鑑賞のポイント

- ・まずは一人で作品をじっくり観たのちに、グループで対話鑑賞を行なった。
- ・ファシリテーターや参加者同士での対話を重視し、全体を2グループに分け少人数で鑑賞を行なった。
- ・鑑賞作品ごとにファシリテーターを交代し、異なる鑑賞体験ができる流れとした。
- ・ツアー開始前に、以下の鑑賞時のお願いを共有。

### 鑑賞ツアー3か条

- ① 発言するときは手をあげよう
  - ② 相手の言葉に耳を傾けよう
  - ③ 他の人との感覚の違いを楽しもう
- ・ファシリテーターが五感を表す「五感カード」を使って参加者の見方や想像力を引き出す工夫をした。
  - ・トランシーバーを使ってファシリテーターおよび参加者の発言を全員に共有し、同時に手話通訳で聴覚障害者への情報提供を行なった。
  - ・感覚特性のある参加者への配慮として、鑑賞ルートや当日のスケジュール、光や音が強いエリアなどが事前にわかるよう鑑賞マップを作成し、参加者に事前に案内した。
  - ・ツアーの途中で疲れてしまった人が休めるような静かなエリアを下見で確認し、案内できるよう準備をした。またフィジेटトイや使い捨ての耳栓、アイマスクなどを、いつでも渡せるよう準備をした。
  - ・光や音が強いエリアを通る際にはあらかじめアナウンスをし、静かな別ルートも選択肢として案内した。

## ●当日の様子

冒頭は全員で輪になり、自己紹介として「自分がリラックスできる感覚」を発表。「水に触れる」「移動する」「狭いところ」など、それぞれの個性や互いの感覚の違いを感じる時間となった。

作品鑑賞ではグループごとに対話鑑賞を行なった。作品を通して五感で感じたことや、どういう気持ちになったか、何を考えたかなどの視点から作品を鑑賞し、互いに発表した。少人数のグループで鑑賞を行うことで参加者からも積極的な発言があり、活発な対話鑑賞となった。

最後の振り返りでは、参加者全員で鑑賞体験を共有し感想を発表。参加者からは、「他の人の感覚を聞き、ひとりだと考えつかないことをシェアしてもらった貴重な体験となった」「ひとそれぞれ見え方の違いがあり、色んな視点で見るのが大切と思った」等の感想が挙がった。

また今回特に感覚特性のある参加者への配慮に工夫をしたこともあり、「事前の詳細案内や、当日の細やかな対応によって、安心してツアーに参加することができた」という声も聞かれた。

### 〈ツアー実施風景〉



---

## プログラム②

### オンライン鑑賞会「じっくり、ゆったり語らナイト」

視覚障害のあるファシリテーターと一緒にオンラインで対話鑑賞を行なった。参加者からファシリテーターに対して「どのような作品か」「何が見えるか」を伝えようと言語化したり、参加者同士で対話をしたりすることで、作品の鑑賞体験を深めた。

**日時:** 9月28日(土曜日) 18時~20時

**会場:** オンライン

**対象:** 鑑賞会に関心のあるすべての人、実際に六本木アートナイトへ行くことが難しい人など  
(定員10名程)

**参加者:** 7名(うち精神障害等2名)

**参加方法:** Zoomを使用

#### ●実施体制

**ファシリテーター:** 井戸本将義、佐々木奈央

**ラーニングキュレーター:** 白木栄世(森美術館)

**進行:** エイブル・アート・ジャパン

#### ●鑑賞作品

- ・ ツアイ & ヨシカワ《豊穣の宝石 - Reflection》
- ・ 高橋美乃里《everyday tactics 2024》
- ・ アトリエ シス《エフェメラル コレクション》

#### ●タイムスケジュール

- ・ 挨拶・自己紹介(20分)
- ・ 作品鑑賞① ツアイ & ヨシカワ《豊穣の宝石 - Reflection》(25分)
- ・ 作品鑑賞② 高橋美乃里《everyday tactics 2024》(25分)
- ・ 作品鑑賞③ アトリエ シス《エフェメラル コレクション》(20分)
- ・ 全体での振り返り(20分)

#### ●鑑賞のポイント

- ・ 最初に画面上で鑑賞作品を共有し、視覚障害のあるファシリテーターに「どのような作品か、何が見えるか」を参加者に発言してもらい、互いに対話をしながら鑑賞を行う。
- ・ 参加者からの発言をもとに、ファシリテーターが作品のイメージを広げ、さらに質問をしていくことで鑑賞体験を深める。



---

## 4. 成果と課題

### 〈鑑賞ツアー〉

- ・感覚特性当事者であるファシリテーターが企画構成から関わっていくプログラム作りができたことで、懸念点などが事前に明確になり、参加者への配慮に具体的に取り組むことができた。
- ・対話を重視した鑑賞にするため、参加者を2グループに分けて少人数での対話鑑賞にすることで参加者の発言機会が多く積極的に感想を共有し対話を深めることができた。
- ・ファシリテーターだけでなく参加者の発言もトランシーバーのマイクで話してもらい全員に共有することで、取り残される参加者を作らずに進行することに配慮した。ただし今回は感覚特性の参加者も多く、トランシーバーのイヤホンが負担となり使えない参加者もいた。今後どのようなツールを使うのが良いかは課題である。
- ・下見の際には静かだった場所でもイベント当日は賑やかになっていることなどもあり、特に感覚特性がある参加者への配慮として、開催時間や場所には検討が必要である。

### 〈オンライン鑑賞〉

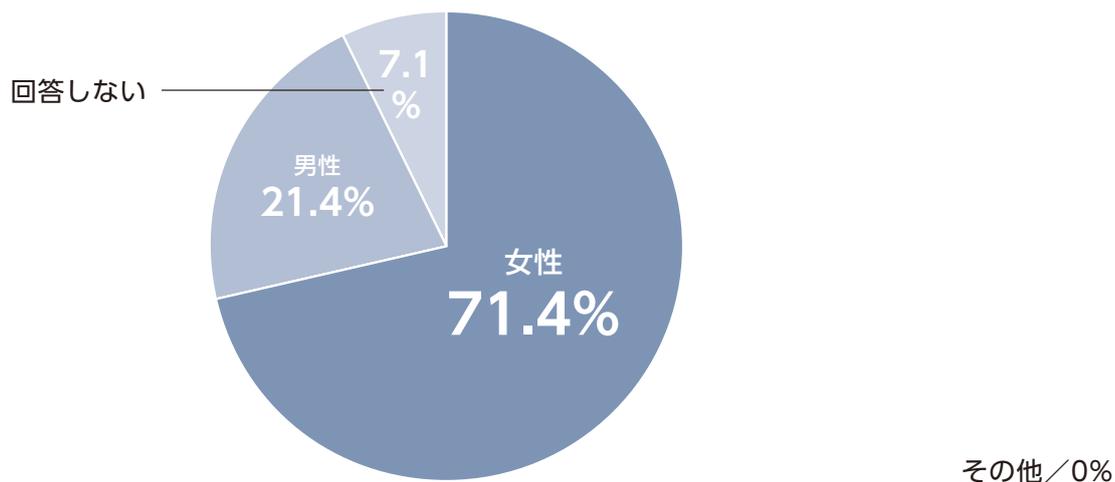
- ・視覚障害のある人への配慮について、当事者の体験や意見から企画の進行に活かすことができた。
- ・ミュートにしている参加者が多かったため、話している人以外の雰囲気把握しづらかった。特に今回は視覚障害のあるファシリテーターだったため、雰囲気把握のためにも参加者のミュートは外してもらう方がよい。また、参加者の状況を運営スタッフが随時ファシリテーターに伝えるなども検討の余地あり。
- ・遠方からの参加もあり、居住地などに左右されずに参加しやすいことが実感された。
- ・オンライン鑑賞だとどうしても作品の規模感や迫力、会場の雰囲気などの伝わりづらさが課題と感じる一方、現地に行ってみたくなったなどの感想もあり、参加者にとってのモチベーションにもなっていた。

## 5. アンケート結果

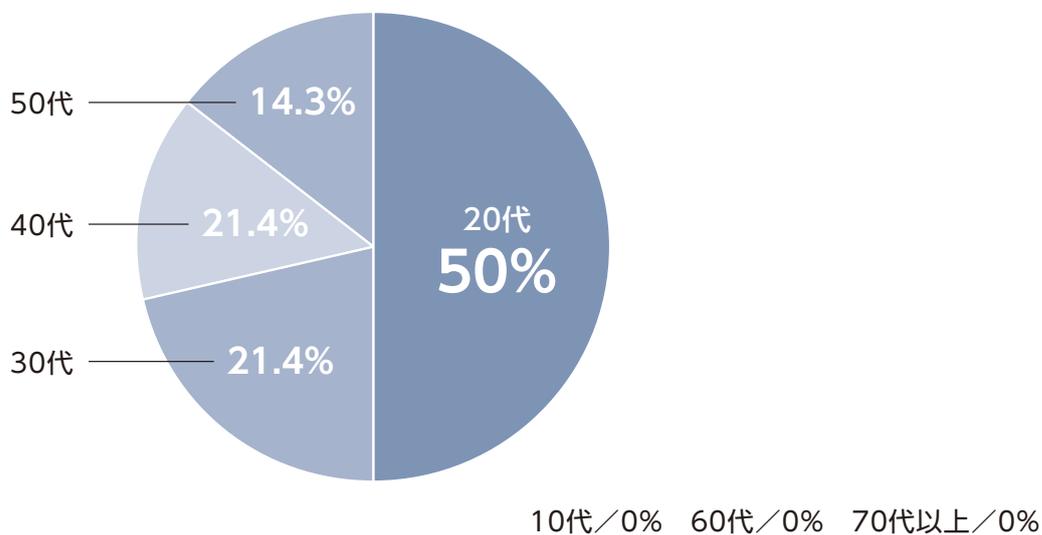
### プログラム①

#### 鑑賞ツアー「ワタシの感覚を見つける、シェアする鑑賞ツアー」

##### ① 性別（14件の回答）



##### ② 年齢（14件の回答）

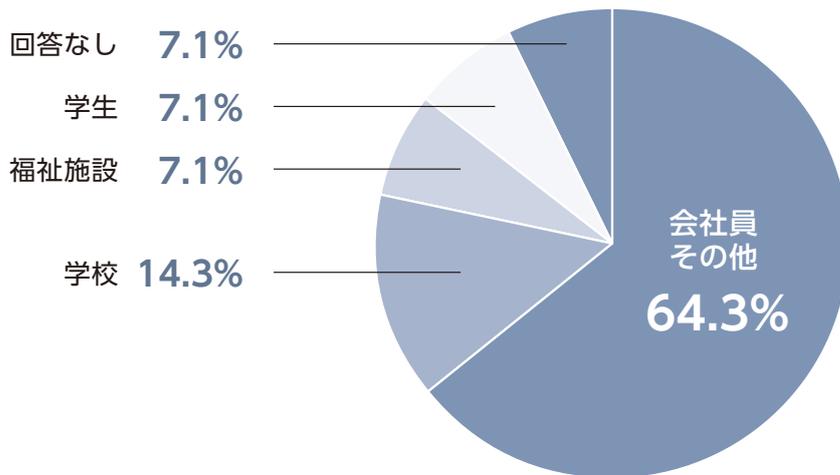


##### ③ 居住地（14件の回答）

東京都 6名、神奈川県 5名、埼玉県 2名

回答なし 1名

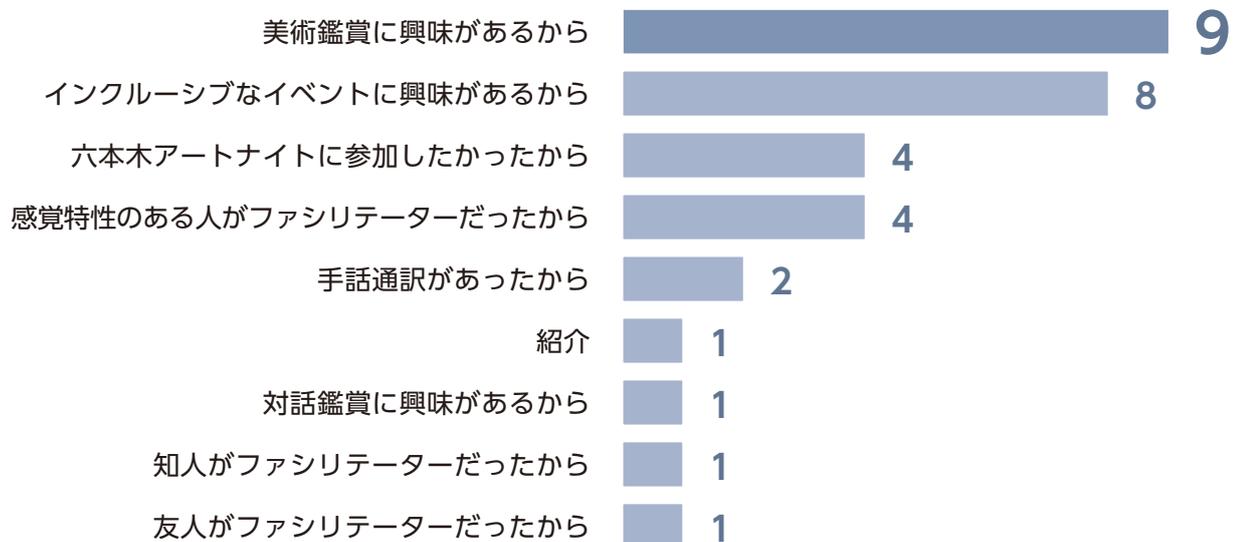
④ 所属 (14件の回答)



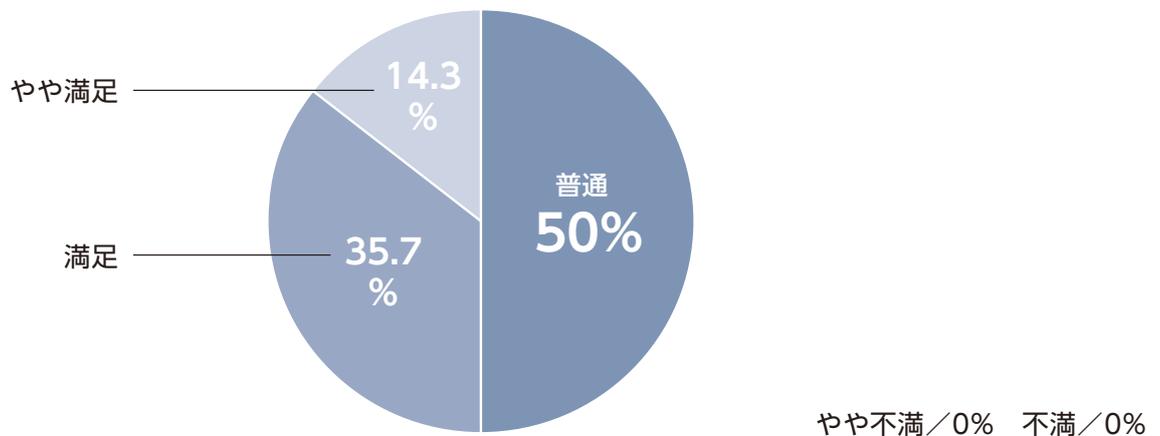
⑤ 本プログラムをどこでお知りになりましたか (14件の回答)



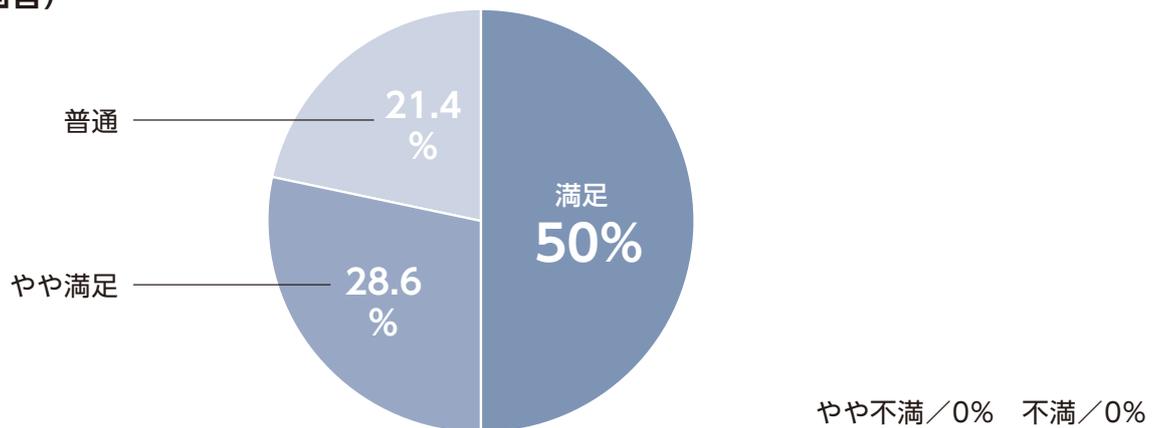
⑥ 本プログラムに参加しようと思った動機は何ですか (14件の回答 / 複数回答)



⑦ プログラムの内容についてお伺いします。  
ツアーの長さ、ルートはいかがでしたか。(14件の回答)



⑧ プログラムの内容についてお伺いします。  
作品鑑賞についてはいかがでしたか (作品選定や鑑賞内容、鑑賞時間など)  
(14件の回答)



プログラムの内容について、よかったところ・改善できそうなところがあればご記入ください

ツアーの長さやルートについて:

- ・ 屋内で見やすかった。作品をもう少しだけ増やしても楽しいなと思った
- ・ とても楽しく過ごしました
- ・ 長すぎず短すぎずで、ちょうど良いタイムスケジュールだったと思う。
- ・ 2つのグループちょうどよい。20分の休憩は長い
- ・ 作品鑑賞:ちょうどいい時間だが2作品は足りない
- ・ わかりやすく説明してくれてよかった。20分ほど作品を鑑賞できればよかった
- ・ あっという間で短い気もしたがその分色々な方の気持ちを気軽に聞けてよかった。ルートも、人の少ない方を選ぶことができてよかった

作品鑑賞について:

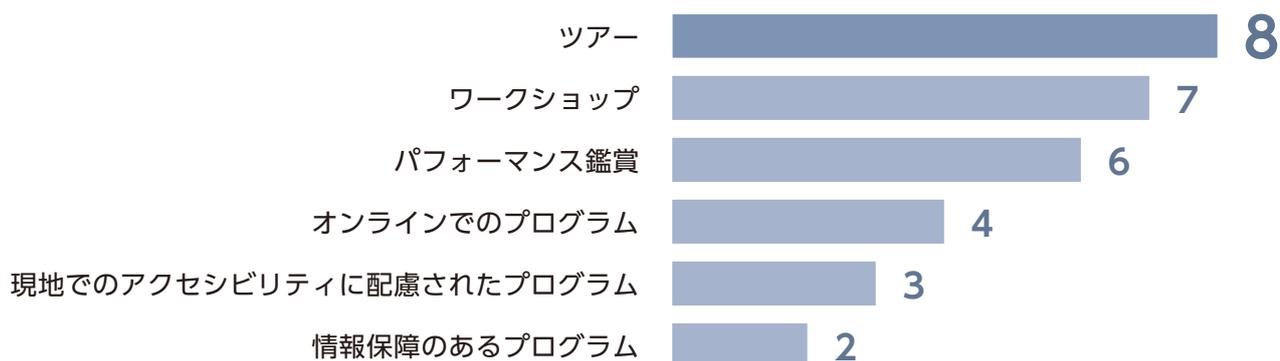
- ・ 皆と話し合いながら作品を鑑賞できるのが楽しかった。もう少し話す時間や作品を増やしても楽しいと思った

- ・ 2つの作品が全く別の要素があったのでとても楽しかった
- ・ 両作品ともイメージが違うのがよかった
- ・ トランシーバーでひとりずつゆっくり話せることがよかった
- ・ トランシーバーだとうまく聞き取れないことがあったので、小型のマイクにして欲しかった

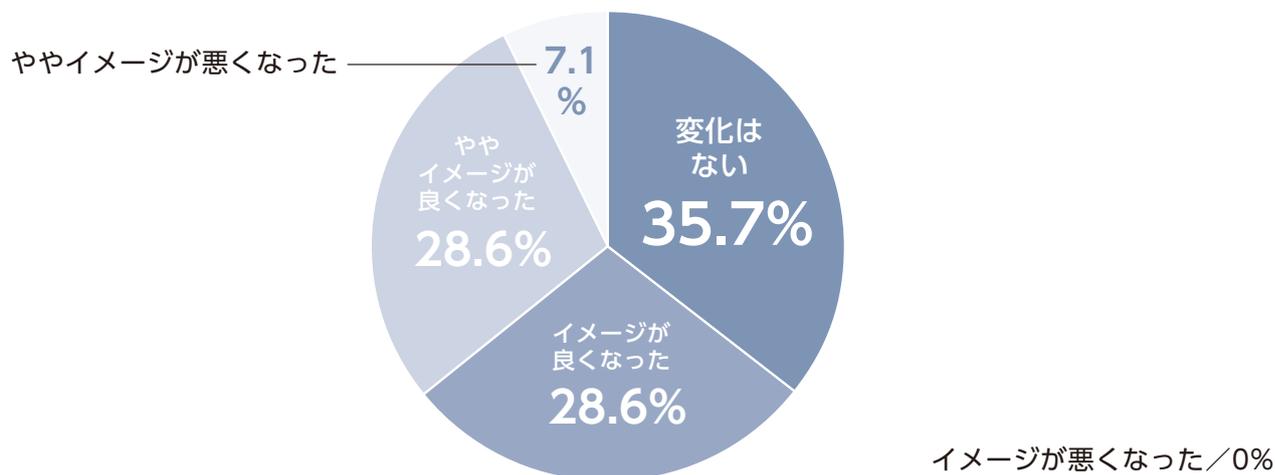
**その他:**

- ・ 事前案内があったこと、鑑賞を楽しむためのルールがあったこと、ルールがシンプルにまとまっていて分かりやすかったことが良かった。六本木ヒルズは特定の場所を見つけにくかったり、にぎやかだったりするので、事前の案内があることで驚きや戸惑いが軽減された。
- ・ 感覚の違いを楽しく分かち合える会という趣旨が斬新で興味を持って参加して、期待通りに楽しく参加できた。
- ・ 受付の場所がわかりづらかった。受付場所のある建物に複数出入口があったが、特定のドア以外は全て締め切られていて場所は合っているはずなのに入れないと思って戸惑ってしまった。

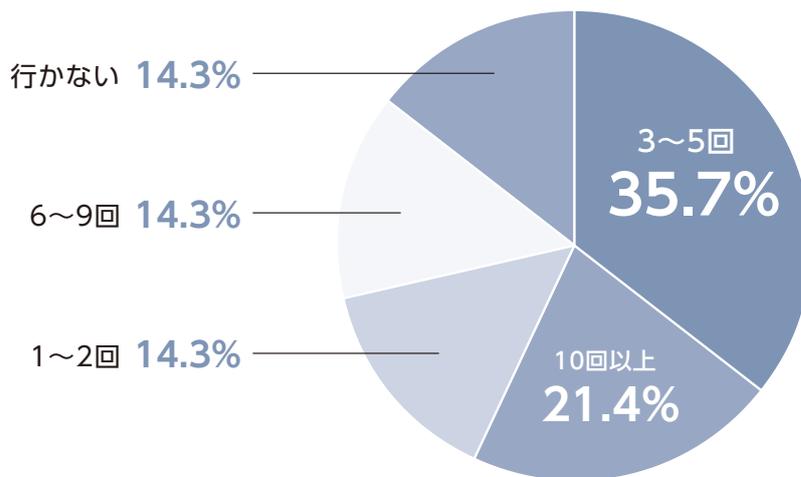
**⑨ 今後、六本木アートナイトにどのようなプログラムがあれば、参加してみたいですか(14件の回答／複数回答)**



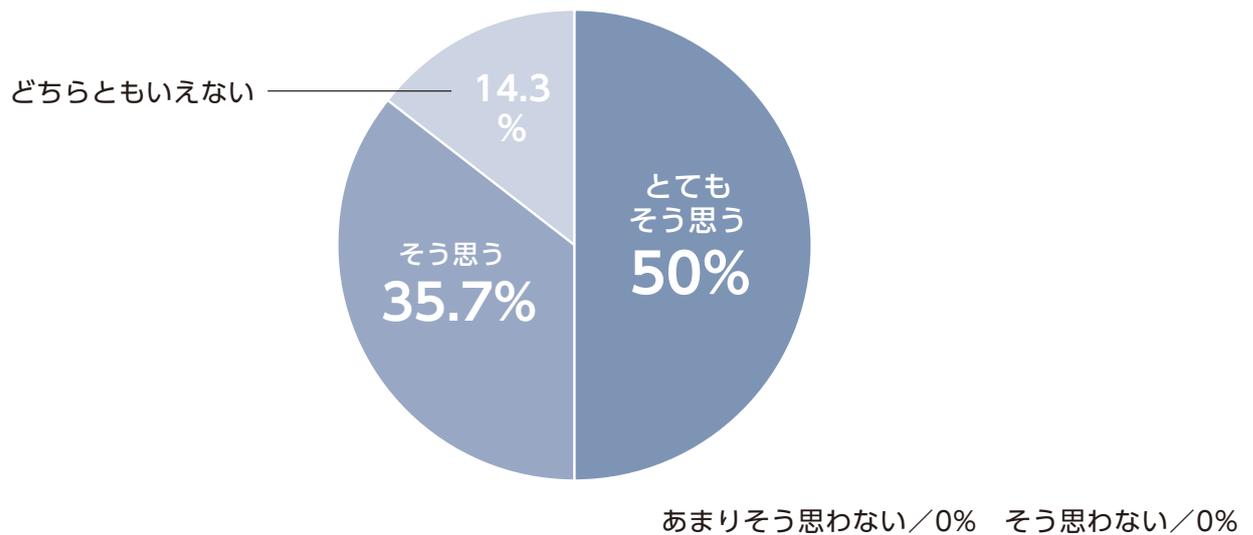
**⑩ 「六本木アートナイト」に参加されて、六本木の「街」としてのイメージに変化はありましたか(14件の回答)**



⑪ 1年間で美術を鑑賞する機会はどのくらいありますか(14件の回答)



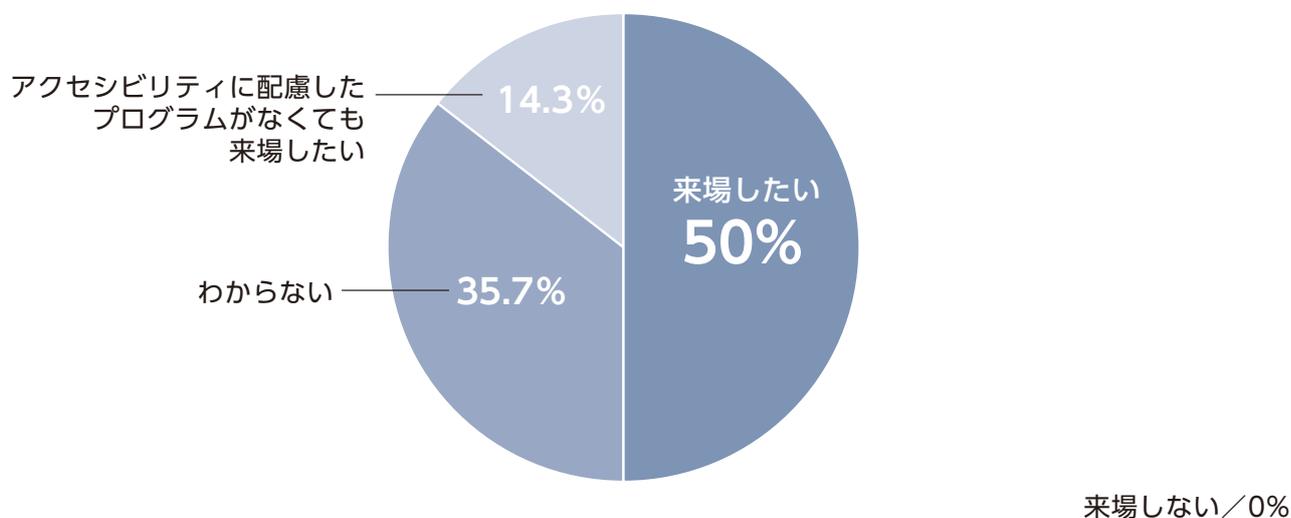
⑫ 美術鑑賞に対して関心は高まりましたか(14件の回答)



⑬ 過去に六本木アートナイトに参加された経験はありますか(14件の回答)



⑭ 次回開催した場合「六本木アートナイト」に  
アクセシビリティに配慮した現地でのプログラムがあれば来場して頂けますか  
(14件の回答)



⑮ 今後六本木アートナイトに期待する、  
アクセシビリティ向上のために必要なサポートがあれば教えてください

- ・ とても丁寧に配慮をしていただいて、安心して観ることができた。アクセシビリティに関して満足している。
- ・ 人通りの少ないところで鑑賞できたらさらに良いと思います。
- ・ 今回初めて参加しました。自分が作品を見て感じる部分はもちろん、他の参加者のみなさんの視点にも意識しながら作品鑑賞ができました。ありがとうございました。
- ・ とても素敵な時間をありがとうございました。2作品目は今の私の気持ちのよう。ワクワクがたくさん飛び出しました。
- ・ みなさん色々な感覚を共有できる素晴らしい機会だったと思います。ありがとうございました。
- ・ とても貴重な体験ができて楽しかったです。準備やケアが大変かもしれませんが、ぜひまた開催していただけると嬉しいです!
- ・ 子どもの時の感情を思い出しました。
- ・ たくさんの発見があって面白くて、またぜひ参加します!
- ・ もっと静かな所で人の話を聞きたい。
- ・ 来るときに、外で大音量で何かやっていたのでそれで少し疲れてしまった
- ・ 六本木という、資本主義の権化のような街で、インクルーシブなアートを行うということが、どうにも私には「免罪符」のように感じる。別の場所で開催をしたり、活動の輪を広げていき、ここではない場所でやるのが可能であればやってみて欲しいなと思った。

---

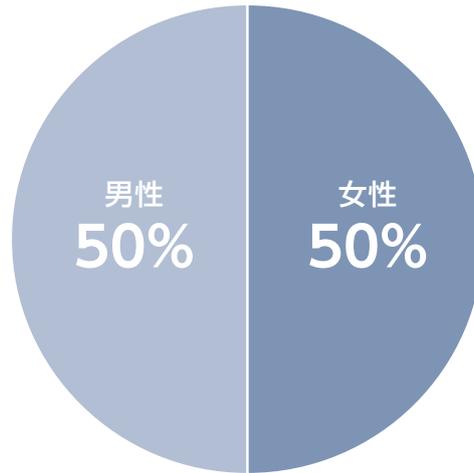
## 5. アンケート結果

### プログラム②

### オンライン鑑賞「じっくり、ゆったり語らナイト」

---

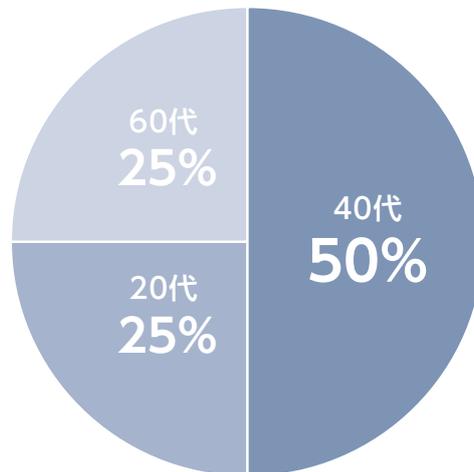
#### ① 性別 (4件の回答)



その他／0%  
回答しない／0%

---

#### ② 年齢 (4件の回答)



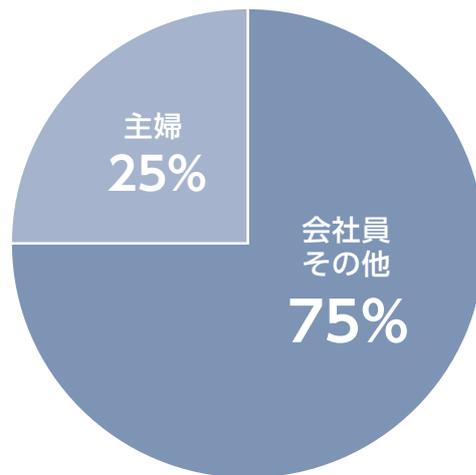
10代／0%  
30代／0%  
50代／0%  
70代以上／0%

---

#### ③ 居住地 (4件の回答)

千葉県 2名、岐阜県 1名、兵庫県 1名

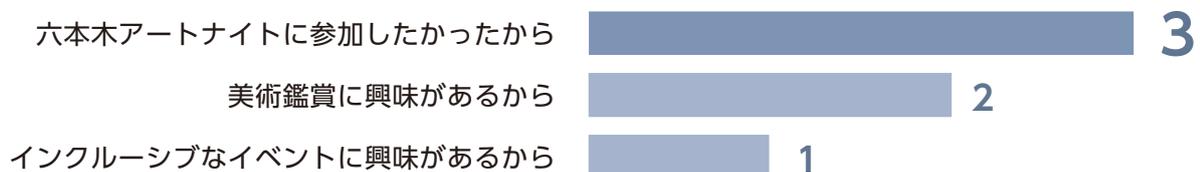
④ 所属 (4件の回答)



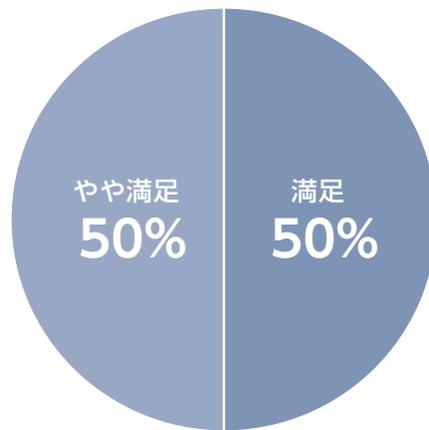
⑤ 本プログラムをどこでお知りになりましたか (4件の回答)



⑥ 本プログラムに参加しようと思った動機は何ですか (4件の回答 / 複数回答)

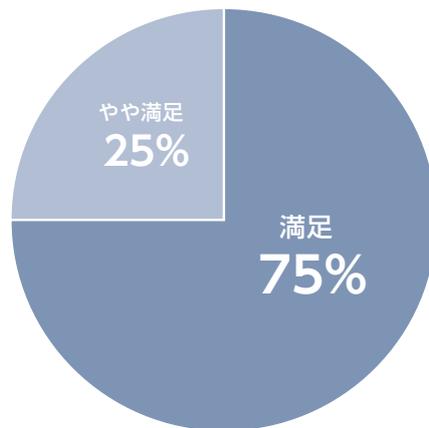


⑦ プログラムの内容についてお伺いします。  
鑑賞会の長さはいかがでしたか。(4件の回答)



普通／0%  
やや不満／0% 不満／0%

⑧ プログラムの内容についてお伺いします。  
作品鑑賞についてはいかがでしたか（作品選定や鑑賞内容、鑑賞時間など）  
(4件の回答)



普通／0%  
やや不満／0% 不満／0%

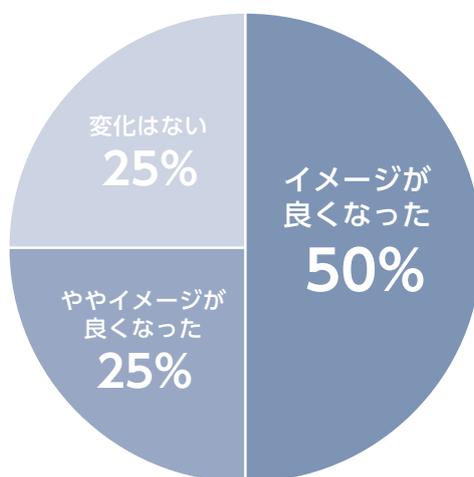
プログラムへのご意見・ご感想をご自由にお書きください

- ・楽しかったです。意外性で度肝抜くような作品ばかり3点見せていただき、それぞれ自分の見方と他の方々の見方の異なり(えっ! そこに注目ですか?といった異なり)が、とても面白く、同じ作品を見ても見方、感じ方が自由で、言葉に出して、それがミルフィーユのように重なり合って、また違う見方ができたことは大きな収穫でした。ありがとうございます。
- ・Zoomでお話ししながら作品を楽しむことが出来てよかったです。エイブルアートさんのことは、セミナーなどで拝見することがあったので、参加出来てよかったです。
- ・もっといろいろな人とART鑑賞をしてみたいと思うようになりました。みんな感じ方や見方が違って描く方も見る方も当然だと思っはいるのですが、なかなかそういう機会に巡り合うことは少ないと思います。だからすごくいい体験でした。

⑨ 今後、六本木アートナイトにどのようなプログラムがあれば、参加してみたいですか(4件の回答／複数回答)

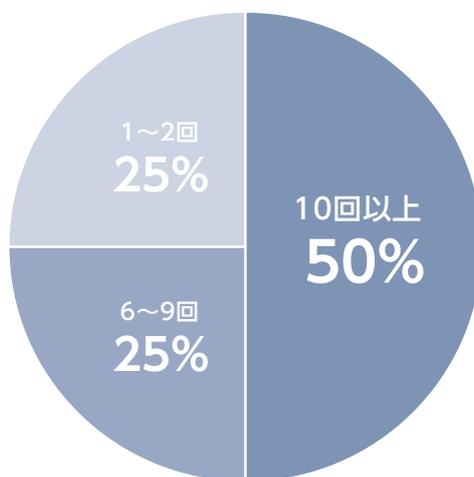


⑩ 「六本木アートナイト」に参加されて、六本木の「街」としてのイメージに変化はありましたか(4件の回答)



ややイメージが悪くなった／0%  
イメージが悪くなった／0%

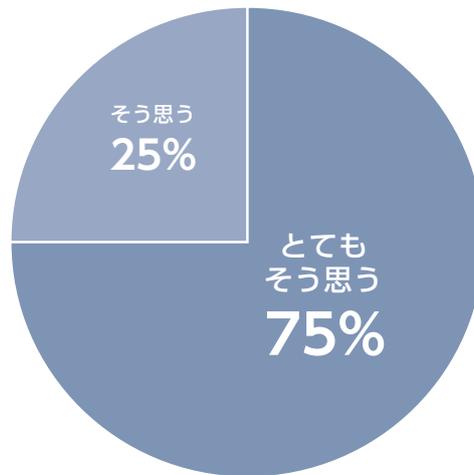
⑪ 1年間で美術を鑑賞する機会はどのくらいありますか(4件の回答)



3~5回／0%  
行かない／0%

---

⑫ 美術鑑賞に対して関心は高まりましたか(4件の回答)



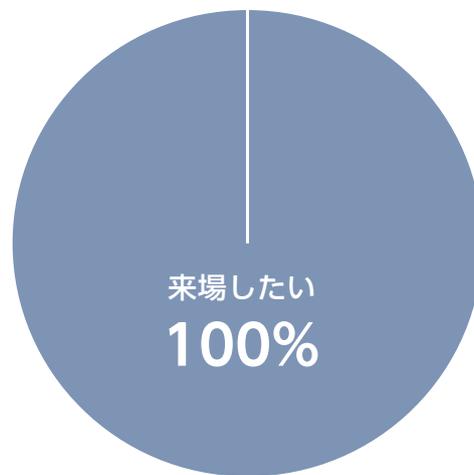
どちらとも言えない／0%  
あまりそう思わない／0%  
そう思わない／0%

---

⑬ 過去に六本木アートナイトに参加された経験はありますか(4件の回答)

今回が初めて  4

- 
- ⑭ 次回開催した場合「六本木アートナイト」に  
アクセシビリティに配慮した現地でのプログラムがあれば来場して頂けますか  
(4件の回答)



- 
- ⑮ 今後六本木アートナイトに期待する、  
アクセシビリティ向上のために必要なサポートがあればお教えてください

- ・ひとりひとりが、寄り添う気持ちを持つこと。
- ・関東の文化を通じた交流として大切にしたいです。

---

## 六本木アートナイト 2024

■開催日時：2024(令和6)年9月27日(金)～29日(日)

※コアタイム：9月27日(金)17:30～23:00、9月28日(土)16:00～23:00、9月29日(日)16:00～20:00

■開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21\_21DESIGNSIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

■主催：東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21\_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】

■助成：公益財団法人大林財団

六本木アートナイト2024 インクルーシブ・アート・プログラム 実施報告書

発行日：2025年3月25日

発行者：六本木アートナイト実行委員会

〒106-6150 東京都六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

森ビル株式会社 森美術館内

URL：<https://www.roppongiartnight.com/2024/>